

技術基準確認チェックシート[リフォーム工事完了後](耐震性(免震建築物以外))

私は、リフォーム工事後の住宅全体が、次表の基準について適合していることを確認しました。

申請物件は、住宅の品質確保の促進等に関する法律(平成11年法律第81号)第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の第5の1-1に定める耐震等級の等級  (※)

に該当しています。

※ フラット35S(優良な住宅基準(耐震性))は等級2又は3、フラット35S(特に優良な住宅基準(耐震性))は等級3の基準に適合する必要があります。

基準の概要	確認項目	確認内容	リフォーム工事後の基準適合確認欄 <input checked="" type="checkbox"/>	備考
評価方法基準の第5の1-1に定める優良な住宅耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)の等級2又は3	基礎・地盤の補強	既存のコンクリート造布基礎に鉄筋コンクリート造の布基礎を抱き合わせ補強していること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	耐力壁の設置	所定の位置・寸法の構造用合板等の面材を用いて耐力壁を設けていること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
		所定の位置・寸法の筋交いを用いて耐力壁を設けていること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	接合部の補強	所定の種類・留付け間隔で金物を用いて柱と横架材の接合を補強していること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	水平構面の補強	所定の種類・留付け間隔で金物又は面材等を用いて水平構面を補強していること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	屋根等の軽量化	所定の材を用いて屋根や仕上げを軽量化していること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	劣化の補強	劣化した部分の取り替えにおいて、構造的な弱点とならないよう補強すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし
	その他		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当なし

注1) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

注2) 「所定の」とあるのは、設計図書等に記載されている事項を意味しています。

平成30年4月1日